

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（7月定例会）会議録
開催日時	平成22年7月23日（金曜日）14時00分から16時30分まで
開催場所	保谷庁舎3階 第2会議室
出席者	委員：濱崎議長、松嶋副議長、稲葉委員、岡村委員、小川委員、倉島委員、齋藤委員、須永委員、宮崎委員（五十音順） （欠席）白木委員、本田委員、本領委員、山田委員 事務局：磯崎課長、神田係長、諸岡主事
議題	(1) 都市社連協第4ブロック研修会について (2) その他 1 副議長（平成22年7月1日～平成23年6月30日）の選出について 2 都市社連協役員会（7月22日）報告 3 関東甲信越静社会教育研究大会（11月26日～27日）の参加について 4 全国社会教育研究大会（10月27日～29日）の参加について 5 補助金の申請受付状況報告
配布資料	1 平成22年度都市社連協第4ブロック研修会開催要項（案） 2 学校施設開放運営協議会について 3 平成21年度地域生涯学習事業 実績一覧 4 平成22年度地域生涯学習事業 実施予定一覧 ・第52回全国社会教育研究大会福島大会開催要項 ・みんなの生涯学習 No.100 ・保谷一小地域安全連絡会NEWS（22年7月13日発行）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>前回会議録の確認 平成22年6月定例会議の会議録を一箇所（3ページ）訂正後、承認する。 社連協第4ブロック研修会について</p> <p>○議長： 7月9日（金曜日）に社連協第4ブロック研修会の打合せ会議があり、資料1の第4ブロック研修会開催要項（案）を提案し、了承された。会議では、質疑応答時間を有効に使うための工夫をして欲しいということと事例発表組織の活動内容や概要のわかる資料を事前送付してほしいという意見が出された。資料については開催通知と合わせて8月中旬に送付したいと考えている。</p> <p>○事務局： 打ち合わせ会議では、時程については変更があるかもしれないということでした承してもらっている。他市から出された要望も含めて再度時程の検討をお願いしたい。</p> <p>○委員：</p>	

事例発表ごとに質疑応答をしたらどうか。

○議長：

事例発表ごとに質疑応答（10分程度）をすることとし、1団体の持ち時間は発表と合わせて30分とし、その後休憩を10分とって、講演を60分という時間配分とする。この内容でよろしいか。

○全委員：

異議なし。

○議長：

事例発表のしらうめネットワークの内容については前回から話がでていますが、学校施設開放運営協議会についてはまだ決めていない。学校施設開放運営協議会の活動内容については資料2のとおり。18校に学校施設開放運営協議会があるので、この中からどこを調べていくか考えていきたい。

（事務局より資料2に沿って学校開放運営協議会について補足説明。）

○事務局：

合併前、学校施設開放運営協議会は田無市にあって、保谷市にはなかった。研修会的事例発表の内容を考える場合には、今期会議の提言テーマである地域づくりの現状把握調査と合わせて進めていったらどうだろうか。そうすれば、その調査結果を基に、第4ブロック研修会で自分たちの提言をまとめるにあたって必要な内容を報告してもらうことができるだろう。学校施設開放運営協議会はいろいろな活動をしており、学校施設（遊び場）開放や学校設備使用に関して地域や団体との調整もしている。「地域のネットワークづくり」という視点から研修会的事例発表を考えた場合には、地域生涯学習の事業の取り組みを報告してもらうのがいいのではないだろうか。具体的な地域生涯学習事業の内容は資料3・4のとおり。地域生涯学習事業は学校施設開放運営協議会の他地域活動の会に委託して実施しており、平成22年度は11団体に委託している。

○議長：

委員の中で学校施設開放運営協議会の活動で知っているところなどありますか。

○委員：

谷戸小に関わったことがある。

○事務局：

平成22年度は、谷戸小・東伏見小については事業委託をしていない。学校施設開放運営協議会のメンバーが毎年変更となるところもあり、その年のメンバーで地域生涯学習事業を受託するかどうか決める事になるので、毎年度実施校は同じではない。

○委員：

他市区はどのようにやっているのか。

○事務局：

生涯学習館というような名称で学校に隣接するかたちで専用の施設を作り、部屋も確保して市民対象の生涯学習事業を実施しているところはある。学校の教室を活用して事業を行っているところは少ないのではないか。他市区で実施されている子ども放課後プランは教室を使っているが、大人を対象とした事業は実施していない。西東京市の地域生涯学習事業は大人対象事業も含めて幅広い内容で実施されている。

○委員：

先ほど合併前は田無市には学校施設開放運営協議会があって、保谷市にはないと聞いたが、合併後はどうなったのか。

○事務局：

学校施設開放事業は、合併後しばらくは、田無地区の小学校では学校施設開放運営協議会へ委託し、保谷地区の小学校では行政がやっていた。その後、保谷地区の小学校にも順次学校施設開放運営協議会を立ちあげ、現在は、1校を除いて、すべて学校施設開放運営協議会に委託して実施している。

○議長：

その中で地域生涯学習事業が盛んに行われているのはどこか。

○委員：

けやき小学校はどうか。

○事務局：

けやき小はバランスよく行っている。年間を通じて事業数を多くやっている所や事業数は少ないが対象者や内容などバランスよくやっている所など、それぞれの学校施設開放運営協議会で特徴がある。事業の内容も幅が広い。地域生涯学習事業の取り組みでどんなことを話してもらいたいかによって、事務局からそれに見合う学校施設開放運営協議会を紹介できると思う。

○委員：

谷戸小の学校施設開放運営協議会の立ち上げから関わったが、当初はいろいろな事業を実施していた。

○事務局：

公民館には職員がいて地域課題的な事業を公民館職員が企画している。地域生涯事業の場合は市民の方に企画をしてもらい、学校施設や地域人材等を活用して実施しているところに違いがある。公民館は学習活動を目的に人が集まる事が多いが、学校には学習活動に限らずいろいろな人が来ているのかもしれない。学校の場合は、学校施設開放（遊び場）事業では個人が利用し、学校設備使用では団体が利用する。またPTAの保護者や学校の先生など多様な人が集まってくる。地域で活動しているいろいろな組織の人も足を運ぶ。学校には地域のいろいろな立場の人が来ている。地域生涯学習事業を通じて、そういった地域の人たちがどう繋がっていているのかといったことが地域生涯学習事業の発表のポイントになるのではないだろうか。

- 議長：
実際、どのような事業を実施しているか見学したほうがいいのではないかと。
- 委員：
しらうめネットワークについては資料（しらうめネットワークNEWS）のとおり説明があったので、内容はある程度理解できていると思う。
- 事務局：
社会教育課に地域生涯学習事業の資料がある。事業計画なども見てもらえる。事業名だけではわかりにくいので計画書や実績報告書をみるとイメージがわいてくるのではないかと。
- 委員：
学校施設開放運営協議会の発表はどうなりますか。調査をして自分たちで発表するのか、学校施設開放運営協議会の人たちに発表をお願いするのか。
- 議長：
調査していく中でどうするか決めればいいのか。
- 委員：
学校施設開放運営協議会を統合しているような連絡会はあるのか。
- 事務局：
そういったものはない。各学校施設開放運営協議会が集まる全体会議はある。
- 委員：
最初はどの学校施設開放運営協議会も活発に事業を実施していたかと思うが、年がたつと委員のメンバーが変わっていく中で取り組み状況も変わってきたように思う。今でも活発に活動をしているところを調査して、どうやって続けてきたのかなどを聞けたらいいと思う。
- 委員：
けやき小の活動は活発ではないか。
- 委員：
中原小はどうか。
- 委員：
柳沢小はどうか。サッカーが盛んだ。
- 事務局：
住吉小は一番最近（平成20年）発足した学校施設開放運営協議会である。

○委員：

発表事例の一つは保谷地区なので、もう一つは地域を変えた方がいいのではないかな。

○議長：

委員の調査活動としてグループに分かれて、事例発表する組織や活動内容について調べる作業を進めていったらどうでしょうか。学校施設開放運営協議会の調査対象候補としては、けやき小・中原小・住吉小の3校とし、グループで資料を見ながら決定をするという事でどうでしょうか。

○全委員：

了解した。

○事務局：

グループ分けをしてもらって、それぞれグループの代表が事務局との調整もしていただく。各グループは、次回の会議までに調査をし、次回会議で調査報告や研修会での発表内容を提案し、全体で調整していく。調査した内容については、提言内容へも反映していく。

○議長：

グループ分けの結果、しらうめネットワーク担当グループは代表宮崎委員、浜崎議長、岡村委員、須永委員、本領委員とする。学校施設開放運営協議会担当グループは、代表小川委員、松嶋副議長、齋藤委員、倉島委員、本田委員とする。今日欠席の方には議長より連絡をする。しらうめネットワークの調査は、宮崎委員が高橋さんと調整し、できれば活動の拠点のしらうめでヒアリングを行う。学校施設開放運営協議会の調査は、一度、事前学習ということで集まってもらい、社会教育課にある地域生涯学習事業に関する資料を見たとうえで調査対象を決め、調査に行く。

(3) その他

1 次期副議長（22年7月1日～23年6月30日）の選出について

○議長：

副議長に自薦・他薦はありませんか。

○委員：

松嶋委員でいかがでしょうか。

○全委員：

了承した。

○議長：

では、副議長は松嶋委員をお願いします。

2 都市社連協役員会（7月22日）の報告

○議長：

小川委員と濱崎、事務局の神田の3名が参加した。主に各ブロックのテーマの報告をした。第4ブロックについても承認された。第4ブロック研修会の都市社連協の挨拶は副会長で多摩市委員の阿部礼子さんすることになった。

3 関東甲信越静社会教育研究大会（11月26日～27日）の参加について

○事務局：

前回開催要項について配布したが、研究大会とは別に、26日の午前10時から11時30分まで都市社連協交流大会が行われることになっている。内容は、都市社連協の表彰とブロック研修会報告となっている。ブロック研修会の報告は各ブロック5分ということで、西東京市も第4ブロック当番市としてどなたか委員が発表することになる。したがって26日は午前からの参加となる。午後の分科会は事前に希望申込となるので、申込書に名前、分科会の第1希望・第2希望を記入して提出をお願いします。

4 全国社会教育研究大会（10月27日～29日）の参加について

○事務局：

昨日の役員会でより詳しい要項をもらった。参加を希望される方は8月20日までに事務局まで連絡をお願いします。

5 補助金の申請受付状況報告

○事務局：

申請についての相談はいくつかの団体からあったが、7月15日の申込締め切りまでに申請された団体は、今回申請4回目となるジュニアオーケストラと初めての申請する混声合唱団コールフロイデの2団体だった。現在事務局で内容を審査している。次回会議で交付決定について報告する予定である。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（7月定例会）は終了する。

次回会議 平成22年8月20日（金曜日）午後2時から